

なでしこほいくしょ うさぎぐみだより



長かった残暑も終わり、爽やかな風にいよいよ秋の訪れを感じます。運動会を終え、子どもたちは大きな行事を経験した事で、更に成長したのではないのでしょうか。保護者の方もあたたかい応援やご参加、本当にありがとうございました。次は、おたのしみ会に向けて五感を刺激する体験活動を広げクラス全体で楽しめるような保育をしていこうと思います。

運動会ありがとうございました

体操、かけっこ、障害走、表現、親子競技。みんな、ドキドキしながらも、一生懸命に取り組んでくれました。たくさんのお客さんの前で、ドキドキしたり、ちょっぴり悲しくなってしまったこともありましたが、練習通り、一生懸命な姿が見られ、子どもたちの背中がとっても頼もしかったです。

大きな行事を終え、お兄さん、お姉さんになった様子がしっかり伝わってくるうさぎぐみ。子どもたちの顔を見ると、自信につながったように思います。その自信を、今後の保育所生活につなげていければと思います。

<本番までの様子をお届け>



<異年齢保育>

もともと2歳児と1歳児の異年齢クラスでしたが9月から1歳児の子が3人うさぎぐみになり、さらに1歳児の子が増え益々にぎやかになりました。

1歳児の子は、年上の子の遊んでいる姿をじーっと見たり、同じおもちゃを持って真似しようとしたりする姿が見られます。「おもしろそう!」「やってみたい!」という気持ちが少しずつ広がっているようです。

2歳児の子は、年下の子が近く来ると、おもちゃを渡してあげたり、「一緒に遊ぼう」と誘ったりしていて、小さい子との関りの中で、優しくしてあげたい気持ちが育っていることを感じます。

一緒に遊んだり、真似っこしたり、時には思いがぶつかったり・・・そんな毎日の関りの中で、お互いにたくさんの刺激を受けながら、少しずつ成長している子どもたちです。



<秋の製作>

秋の味覚、「ぶどう」の製作を楽しみました。花紙をくしゅくしゅと丸めたり、ちぎったりぶどうの粒に見立ててペタペタ貼りました。「できた!」と嬉しそうにしながら、一人一人楽しそうに取り組みました。みんなが作った粒を1つの作品に・・・。大きなぶどうのできあがり!!完成した大きなぶどうを見て、とっても嬉しそうな子どもたちです。



指先を使う遊びは、今の時期からたっぷり経験して欲しいことの1つです。指先は第二の脳とも言われており、たくさん動かすことで手先が器用になるだけでなく、脳の働きも活性化されていくそうです。これから遊びや活動の中で、指先を使って楽しく取り組んでいきたいと思っています。

